

パブリック・サービス研究分科会

講義年月日 2010年3月8日 13:30~14:30

講演者 慶應義塾大学 日吉メディアセンター

パブリックサービス担当課長 長島敏樹氏

テーマ「慶應義塾大学日吉メディアセンター（日吉図書館）の最近の動向」

講義内容

慶應義塾大学日吉キャンパスに在籍する7学部1・2年生を主たる利用者とする日吉図書館では、幅広い分野の資料を収集し提供している。専門課程に進級する前に、大学生活に欠かせない図書館と情報の利用法を身につけてもらうことを最大の使命としている。

日吉図書館では「学生にもっと本を読んでもらいたい」、「もっと図書館を使ってほしい」との観点から2007年に読書推進ワーキンググループを立ち上げ、様々な活動を行っている。具体的には、入口脇にラウンジを設置し、そこで教員や学生からの推薦図書や貸出回数が多い図書を展示したり、新着図書の展示方法を変更（場所変更や表紙の展示など）したりしている。一部の図書のカバー付装備、語学学習コーナーの設置、選書方針の変更（文庫・新書の積極購入、教養としてのマンガの購入）も行った。

また、「場としての図書館」を学生が快適に利用できるよう、キャレルの設置やグループ学習室の改修に加え、閲覧席の一部を簡単にセミナースペースとして活用できるようキャスター付の机と椅子を配置するなどの工夫をしている。ミュールなどの足音が読書の妨げにならないよう、床をカーペット敷きに変更したり、PCコーナーやAVブースを除きペットボトルなど密閉容器に入った飲み物を館内で飲むことを認めたりといった細かな配慮もしている。

サービス面では、教養研究センターと共同で「学習相談」を実施し、勉強のしかた、レポートの書き方などを上級生（2年生～大学院生：教養研究センター開設講座「アカデミックスキルズ」受講者のうち優秀な学生）に気軽に相談できる場を提供している。2009年6月、7月には約60件の相談を受けた。相談内容が「心の問題」に及ぶ可能性もあり、学生部のカウンセラーのカウンセリングを受けられる体制を整えるなど、他部署との連携を図っている。